

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		谷口 祐治	所 属	総合情報処理センター	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.40	情報工学科(3科目)、共通教育(3科目)を担当し、ICTを活用した実践的な講義を行う。特に新設共通教育科目「情報セキュリティ概論」を公開講座として提供する。情報工学科の修士および学部の研究・教育を指導する。総合情報処理センター技術相談員の技術指導及び研修会を開催する。ICT活用ガイダンスを要望に応じて出前支援する。教員免許状更新講習、高校向け出前講義を行う。		0.40	情報工学科専門科目、共通教育科目を担当し、ICTを活用した実践的な講義を行った。共通教育新設科目「情報セキュリティ概論」を開講した。情報工学科・大学院の研究指導を行った。総合情報センター技術相談員の研修会を行った。総合環境学副専攻の担当教員として副専攻学生への教育を行った。教員免許状更新講習と那覇商業高校への出前講座で「インターネット社会の安全対策」を講義した。	
研究	0.20	外部資金(奨学寄付金)を獲得し、新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)として、大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究に取り組み、県内インターネット技術の発展に寄与する。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会を開催する。		0.10	外部資金(奨学寄付金)を獲得し、新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)に研究協力した。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会(沖縄会場)を主催した。	
社会 貢献	0.10	沖縄インターネット協議会(OIA)研修会を開催し、県内ネットワーク技術者の技術交流に努める。大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究により、産学間ネットワークを運用支援する。南島スクールネット研究会との連携のもと、学校インターネットの運用技術指導を行う。その他県内インターネット環境の技術相談等に対応する。		0.10	沖縄インターネット協議会(OIA)研修会共催による、日本インターネットプロバイダー協会主催の「インターネット上の違法・有害情報対策セミナー」を誘致・開催協力した。新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)を推進し、大学教育・研究コンテンツキャッシュの有効活用を計る産学間ネットワークを支援した。沖縄県立看護大学の基幹ネットワーク構築を支援した。	
管理 運営	0.30	新任職員・教員に対しての情報セキュリティガイダンスを行う。総合環境学副専攻教員、エコロジカルキャンパス推進委員、教務システム電算化委員会委員、IT戦略室員等の活動を行う。事務・教務情報システム、本学公式Webページ等の運用を支援し、本学の業務ICT化を推進する。H26年度末導入予定のキャンパス情報システムの仕様書(案)を策定する。		0.40	本学のセキュリティインシデントに関する対応を行った。新任職員・教員に対しての情報セキュリティガイダンスを行った。大学統合情報データベースの構築に関する技術指導を行った。琉大コミュニティキャンパス事業本部(RCC)委員として「サテライト教育システム一式」の仕様策定を行った。IR検討プロジェクト委員としての活動を行った。病院情報システム仕様策定委員としての活動を行った。事務・教務情報システム、本学公式Webページ等の運用を支援し、本学の業務ICT化を推進した。	
進路 指導	0.00			0.00		
	0.00			0.00		
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	舟木 慶一		所 属	総合情報処理センター	
職 名			講 師		
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定	業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	<p>共通教育科目情報科学演習にて、昨年同様のExcel中心の講義を行うとともに、情報処理試験ITパスポート試験の紹介を行う。専門科目ヒューマンインターフェースで、昨年同様の講義を行うとともに、企業の著名な研究者をお招きし、デジタルシネマ、ロボットの音声情報処理の講演会を開催する。情報処理技術で、情報処理技術者試験基本情報午後問題対策の講義を行う。合格者が1名でも増えるように努力する。また、実験Ⅲで、歌声の分析を行う。大学院の情報通信論でG.718などの標準化英語ドラフトを輪読し、プログラム読みを行う。今年度後期から共通教育「情報処理概論」を開講する。基本情報技術者試験午前問題程度の基本的な知識の講義を行う。</p>	0.35	<p>情報科学演習ではExcel中心の講義を行った。ヒューマンインターフェースでは、例年通り、ARMAフィルタの極零伝達特性ならびにLPC分析、音声符号化を中心に講義を行い、SCILABによる演習を行った。ATRから石井カルロス博士を招き、『音声から唇の動きの生成』の講演、NTTから仲地博士を招き『デジタルシネマと協調型映像製作技術』の講演会を開催した。情報処理技術では例年通りの内容で工学部以外からの受講生にも講義をする。実験Ⅲでは歌声の残響除去やマルチレート処理による解析、F0推定を行う。論文を読んでいただき、Matlabでシミュレーションを行う。大学院の情報通信論ではETSI Advanced Front End(AFE)の英文ドラフト読みをする。今年度から開講した共通教育の情報科学概論では基本情報午前問題レベルの基本的な知識の講義を行う。SQLiteを用いたデータベースの演習は好評だったが、教科書の分量が多いので講義内容を絞らなければならない。また、法文学部国際言語専攻博士前期課程の講義『メディア利用の外国語教育』の中で、大学院生6名に対して、WebClassの活用法についてレクチャーを1コマ行った。</p>	
研究	0.40	<p>下記のことを行う。                      (1)音声のF0推定の高精度化                      (2)指紋認識の発展                      (3)ロバスト音声認識                      (4)HMM音声合成                      (5)成果を、論文誌、国際会議(EUSIPCO2013など)、国内会議(音響学会、SIPシンポジウム、SIS研究会など)にて発表する。                      (6)時系列解析の応用として経済波、ネットワークデータなどの解析の検討をはじめめる。                      (7)著作権保護対策として電子透かしの研究の検討をはじめめる。                      (8)科学研究費:(1)-(4)で基盤(B)、(6)で挑戦的萌芽研究に申請する。                      (9)電子情報通信学会SIS研究会研専委員として活動する。                      (10)電子情報通信学会スマート通信・マルチメディアシステム(SM)小特集号の編集委員を務める。                      (11)国際会議ISPACS2013のTPCとして活動する。                      (12)電子情報通信学会常任査読委員として査読を行う。                      (13)IEEE国際会議(ISCAS2014ほか)の査読委員を行う。</p>	0.40	<p>(1)SRH方式をIEICE SM小特集号に投稿し、採択され、IEICE Trans. on Fundamentals, Vol.E96-A.No.11,2013にて出版された。WLP分析とWLPIに基づくSRHによるF0推定を12月にイタリアフィレンツェで開催されたMAVEBA2013にて発表した。さらに、瞬時周波数を用いたF0推定の検討を行う。SIPシンポジウムと秋季ならびに春季音響学会にて発表し、9月にポルトガルリスボンにて開催される国際学会EUSIPCO2013に投稿した。                      (2)指紋認証に用いられている群遅延スペクトルを複素ARフィルタから算出する方法論を確立し、その特性を調べる。Matlabでシミュレーションを行った結果、低域で急峻なピークが推定されることが確認された。                      (3)ETSI Advanced FrontEnd(AFE)のWiener Filter(WF)部の改良を行う。ETSI方式ではFFTによりスペクトルを推定しているが、ロバスト時変複素AR(TV-CAR)分析を導入する。実数MMSE分析、実数ELS分析で良好な結果が得られる。複素分析がベストであるが、高域のスペクトルが歪むために実数分析と大きな差ではない。高域の歪みを抑圧する方法を検討中である。SIPシンポジウム、春季音響学会にて発表し、EUSIPCO2014に投稿した。                      (4)改善案を検討した。(5)(1),(2),(3)で記載。                      (6),(7)文献調査を行う。                      (8)(1),(2),(3)の内容で科学研究費基盤(C)に申請した。計画書の初年度の内容はほぼ完了済である。                      (9)SIS研究専門委員会委員として、(10),(11)の活動を行う。                      (10)SM小特集号の編集委員として2本の論文の査読員をアサインし審査を行う。                      (11)ISPACSの編集委員として6本の論文に対し査読員をアサインし審査を行う。那覇市で開催されたISPACS2013にてセッションの座長を行う。                      (12)依頼が来た査読を行う。電気学会からの依頼も受ける。                      その他、昨年度のSIPシンポジウムでの幹事として、IEICEに会計報告を提出するとともに、今年の幹事の北九州市立大学に引き継ぎを行う。</p>	
社会貢献	0.10	<p>下記の活動を行う。                      (1)夏休みに教員免許更新講習(声の不思議)を行う。                      (2)昨年同様、要望があれば、出前授業を行う。</p>	0.05	<p>(1)夏休みに声の不思議の講習を1回行う。                      (2)今年はない。来年に向けて、声の不思議だけでなく、Excelの使い方、複素数の話などのコースの申請を行う。</p>	
管理運営	0.20	<p>①自らWebClassの講習会を行う。                      ②作成したWebClassのマニュアルをさらにブラッシュアップする。                      (2)情報倫理の留学生向け説明会を行う。                      (3)システムの安定運用に向け、業者対応を行う。                      (4)図書館のリテラシーガイドブックをブラッシュアップする。                      (5)図書館のリテラシーガイドブック用に作成した動画利用マニュアルをさらにブラッシュアップする。                      (6)各実習での講義ならびに演算サーバの利用者に対する支援を行う。                      (7)総合情報処理センターのリーフレットを作成する。                      (8)安否確認システムの検討を始める。</p>	0.15	<p>(1)データバフィックによるWebClassの講習会を9月の末に開催する。受講者は30名程度。                      (2)留学生のオリエンテーション(4月、10月)にて留学生向けに情報倫理と総合情報処理センターの利用方法の説明を行う。                      (3)毎週水曜日午後定例の打ち合わせを行う。                      (4)2014年版に向けた若干の改訂を行う。                      その他、企画評価戦略室の評価委員として、平成24年度進捗状況チェックシートの担当分の評定を行う。さらに、今年度の大学入試センター試験試験監督員として八重山高校の会場で連絡員を行う。</p>	
進路指導	0.05	<p>卒研生の就職指導を行う。</p>	0.05	<p>就職活動をしていたのは卒研究生1名のみ。その学生の教育実習の研究授業を聴講に知念高校に行き、高校の情報の先生と情報交換を行った。</p>	
計	1.00	<p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。                      ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。                      ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>	1.00	<p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		